

## 発電所職員が大崎海水浴場を清掃

九州電力松浦発電所（中西章夫所長）と電源開発松浦火力発電所（西山千里所長）が6月24日、大崎海水浴場の清掃を行いました。

これは、同海水浴場の海開きを前に、環境月間の一環として行われたものです。この日は、発電所の協力会社の職員などを含め約70人が参加。参加者たちは、ごみ袋と火バサミを持って、海岸に落ちているごみや流木などを約1時間かけて清掃しました。



## ハートオアシスが花植え

志佐町の地域活動支援センター・ハートオアシス（本宮豊所長）が6月25日、松浦中央公園の花壇に花を植えました。

同施設は、精神障害者の社会復帰、社会参加の促進や地域での生活を支えるための施設。この日は施設の利用者

など約10人がサルビア、やペチュニアなどの苗約200株を同公園内にあるプランターに植えました。



## 小中学生が地域を清掃

調川小学校（佐々木龍二校長）と調川中学校（室屋政実校長）の合同ボランティア活動が6月26日、調川町内で行われました。

清掃活動を通して、奉仕の精神を養い、地域の一員としての自覚を深めることを目的に開催されたもの。この日は、小中学校の児童、生徒、学校支援会議のメンバーなど約200人が参加し、同町内の公共施設や史跡、通学路などの清掃を行いました。



## グラウンドゴルフで熱戦

第3回松浦市老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会（同会主催、松瀬輝治会長）が6月17日、鷹島総合運動公園で開催されました。

グラウンドゴルフを通じて会員相互の親ほくと健康増進を図ることを目的に毎年開催。この日参加した約300人は、日ごろの練習の成果を発揮し、熱戦を繰り広げました。上位の結果は、次の通りです（敬称略）。

<男子>①松永一明（里不老会） ②松元時雄（今福長寿会）

③佐木茂（里福寿会） ④山崎貢（大崎長生会）

⑤白川清（里不老会）

<女子>

①今村チエ（御厨長生会）

②冨本丸子（里不老会）

③吉川実子（今福長寿会）

④近藤暁子（親和クラブ）

⑤松永フジェ（今福長寿会）



# まちの話題



## 中興化成工業社員がゴミ拾い

フッ素樹脂などを製造する中興化成工業松浦工場（今里英雄松浦事業本部長）の社員が6月19日、松浦市民運動公園内を清掃しました。

環境月間の社会奉仕活動として、日ごろお世話になっている同公園を清掃し、けがが起きないように使ってもらいたいと企画したものです。

この日参加した約40人は、ごみ袋を片手にタバコの吸い殻や落ち葉などのごみを約1時間拾い集めました。



## 安全安心のまちづくりの基本は「しつけ」

第30回長崎県少年センター補導委員連絡協議会総会・研修会が6月28日、文化会館で開催されました。研修会では、松浦警察署岩田廣文署長が「安全安心まちづくりと少年補導」と題して講演を行いました。岩田署長は、「物の豊かさにまぎれ、正しいしつけを怠ったことが治安の悪さにつながっている。しつけ教育を見直し、子どもたちに正しいしつけを行うことが次世代の安全安心につながる」と講演。この日参加した県内の少年センター補導委員や一般市民約200人は、安全安心のまちづくりの基本がしつけにあることの大切さを学びました。



## 「食育と地産地消」講演会

北松浦青年会議所が主催する第35回長崎ブロック会員大会 in 北松浦が6月27日、文化会館で開催されました。

大会は、同会議所が食育について学び、それを実行できるような講演会にしたいと企画。佐世保市の特定非営利活動法人（NPO法人）「大地といのちの会」の吉田俊道代表と中尾慶子理事が講演を行いました。

大会には県内の青年会議所会員や市民など約1000人が参加。吉田代表は佐世保市の保育園で生ごみを混ぜた土で作った野菜を食べさせたところ病気で休む子どもが減った事例などを紹介し、「強い野菜を作り、強いいのちを食べることで免疫力が高くなり、病気になりにくい体を作ることができるのです」と話しました。

## 西海短歌祭で各賞決まる

第19回西海短歌祭が6月28日、文化会館で開催されました。

県内を中心とした短歌愛好家で作る西海短歌連盟（山口礼子会長）が、会員同士で学習しながら親ほくを深め、地域の文学の発展につなげたいと開催しているものです。この日は、約30人の会員が参加。事前に寄せられた短歌

55首の作品の中から、互選賞や選者賞などの入選作品が決まりました。市内の入賞者は次の通りです（敬省略）。

### 【互選賞】

平戸市文化協会賞 金子<sup>じゆみ</sup>寿美  
西海短歌連盟賞 石川元治

### 【選者賞】 浦上シズエ



## 願い事かなうかな

調川小学校（佐々木龍二校長）の1、2年生が7月1日、同校体育館で地域のお年寄りや調川保育所の園児と七夕飾りを行いました。

同校では、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」の一環として毎年七夕交流会を実施。この日は、調川公民館の高齢者学級で活動するお年寄り8人からしゅろの葉の裂き方や結び方などの指導を受けながら飾りも一緒に作り、「家族が健康でいられますように」「友だちと仲良くできますように」などの願い事を書いた短冊や飾りをササの枝に結び付けていました。



## 近江鍛工が地域の学校に寄付

近江鍛工（坂口康一社長）が7月2日、御厨中学校区の小中学校5校に寄付を行いました。

同社は、4年前から市立図書館などに図書購入費を寄付。昨年度から同社長崎工場（平成6年御厨町に設立）が地域に貢献しようと地域内の小中学校に寄付しています。

この日は、同社長崎工場の松澤司郎工場長と太田富穂副工場長が市役所を訪れ、各小中学校の校長に寄付を手渡しました。松澤工場長は「この地域では高齢者を大切にする気持ちが子どもにも受け継がれていて素晴らしい。松浦は気持ちのいい地域。この地域の若い皆さんのために有効に使ってください」と話しました。

